

伝統の技と
心を受け継ぎ
活躍の場を
広げませんか



信州職人学校 伝統大工(応用)コース

2012 年度 受講生 募集案内



〔応用コース修了生は『信州伝統大工1級』技能評価試験の受験資格が与えられます〕

長野県建設労働組合連合会
信州伝統建築技能継承事業運営委員会
長野県松本技術専門校

伝統構法の継承と新たな時代のひとづくりを目指して



建設労連では、伝統建築技能の次世代への継承（技能後継者の育成） 建築技能に対する社会的評価の向上（建築技能者の地位向上や待遇改善） 伝統技能を生かした家づくりの推進、等を目的に、2009年度より『信州伝統建築技能継承事業』に取り組んでいます。

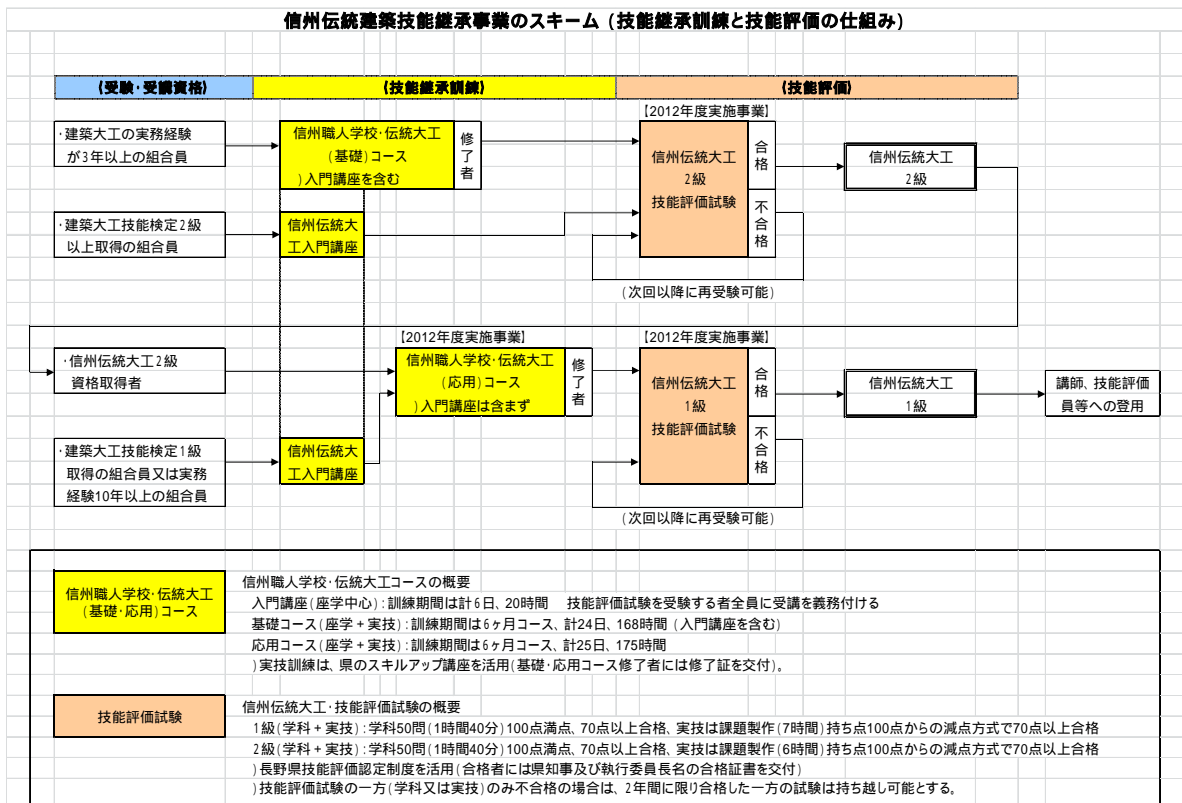
昨年度は、信州職人学校の修了生の技術・技能が活かせる場を確保し、伝統技能を生かした家づくり等を推進するため、多数の有識者・関係者の参加を得て『信州建築職人ネットワーク委員会』を立ち上げ検討を始めました。この委員会は本年度も継続実施されます。

伝統構法の木組み（架構計画）を提案・施工できる棟梁を育成するための『伝統大工（応用）コース』を本年6月より開講します。修了後に実施される技能評価試験に合格した修了生は、『信州伝統大工1級』の称号を付与され、今後広く活躍が期待されます。特に今回は、塩尻市の「牧野滝神社改修工事」を実技課題に設定し、それを軸に学科・実技の訓練を行なうことにより、棟梁とし

ての総合的技量の向上を図ります。

伝統構法に関心を持ち、さらなる技能向上を目指している、意欲ある仲間の皆さんの参加をお待ちしています。

信州伝統建築技能継承事業のスキーム（技能継承訓練と技能評価の仕組み）



伝統大工（応用）コース 訓練カリキュラムの概要と講師陣

区分	訓練科目	訓練内容	コマ数	講師陣
学 科	木造構造計画	構造計画の基礎から、伝統構法の架構計画の方法（荷重・応力、部材断面・接合部、許容応力度法、限界耐力計算法）まで、実例に即して学ぶ	10	未定
	木造設計	伝統構法建築物の設計実例を解説し、フリーハンドでのスケッチ練習等を行う	5	未定
	住宅の性能計画	構造の安定、温熱環境、伝統住宅の環境技術等の住宅性能を理解し、住宅実務への活用をめざす	2	信州木造住宅協会 佐野 佳孝
	信州の山林と木材	信州の山林と林業の現状について、現地照査を踏まえて解説する	2	森林ライター 赤堀 楠雄
	伝統建築研究	普段考える機会が少ない「日本の伝統木造建築」について、研究テーマを設定し、自主的に掘り下げて学習・研究する	5	秋山恒夫建築研究所 秋山 恒夫 信濃伝統建築研究所 和田 勝
	木造生産・経営	伝統構法の施工管理方法を学ぶとともに、木造生産システムや工務店経営への今後の視点を育成する	6	(有)マル和建設 藤森 久弘
	1級学科補講、模試	信州伝統大工1級技能評価試験（学科）に向けた模試と補講を行なう	3	秋山恒夫建築研究室 秋山 恒夫
実 技	応用道具づくり	各自の手道具の点検を行うとともに、道具づくり（鑿・鉋を中心に仕込みと研ぎもの）を通して手道具への愛着を深める	3	(有)寺島工務店 寺島 新蔵
	木造構造実験	試験体の製作を通して木構造の理解を深めるとともに、実験により構造耐力の検証を行う	10	宮澤建築 宮澤 郁夫
	総合施工実習	塩尻市宗賀の「牧野滝社神殿」改修事業に参加し、垂木・野地板修理、上屋根墨付け・刻み、上屋根建て方等を担当する。上屋根の墨付けには応用規矩術のじゅぎょうを組み込み、規矩術の理解を深める	45	(有)三浦創建 三浦 保男 (有)寺島工務店 川又 健
	1級実技試験練習	信州伝統大工1級技能評価試験（実技）に向けた練習を行なう	9	(有)寺島工務店 川又 健
	公開講座	受講生への座学を兼ねて、一般組合員・市民も参加できるオープンセミナーとして4回開催。通常授業で盛り込めない内容をテーマに随時設定する	7	伝統構法等に関する豊富な知識と経験を有する県内外の棟梁、設計者、学識経験者に委嘱
	地域調査（研修旅行）	1泊2日で県外の伝統的建築物や建築文化を調査し、終了後に成果発表を行なう	10	秋山恒夫建築研究室 秋山 恒夫

伝統大工（応用）コース

第2期 年間授業計画案【2012年度】

年/月	日	曜日	回	行事	限					会場
					9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:20	
6	2	土	1	開講式	開講式、ガイダンス	公開講座15	応用道具づくり			松本技専、体育館
	9	土	2		木造構造実験1		木造構造実験2			体育館
	16	土	3		木造構造実験3		木造構造実験4			林業センター
	23	土	4		木造構造計画1		木造構造計画2			建労会館
	30	土	5		木造設計1		木造設計2			建労会館
7	7	土	6		木造構造計画3		木造構造計画4			建労会館
	14	土	7		住宅の性能計画		OJT報告	調査事前学習		建労会館
	15	土	8		調査研修旅行(1泊2日)					
	16	日	9	海の日						
		21	土	10		総合施工実習1		総合施工実習2		現地(塩尻市)
	28	土	11		総合施工実習3		総合施工実習4		現地(塩尻市)	
8	4	土	12		信州の山林と木材		公開講座16			建労会館
	11	土	13		伝統建築研究		伝統建築の調査・修復			現地(安曇野市)
	18	土	14		総合施工実習5		総合施工実習6			体育館
	25	土	15		総合施工実習7		総合施工実習8			体育館
	9	1	土	16		総合施工実習9		総合施工実習10		
8		土	17		総合施工実習11		総合施工実習12			現地(塩尻市)
15		土	18		総合施工実習13		総合施工実習14			現地(塩尻市)
22		土	19	敬老の日	公開講座17		1級実技試験練習1			建労会館
29		土	20	秋分の日	総合施工実習15		総合施工実習16			現地(塩尻市)
10	6	土	21		総合施工実習17		総合施工実習18			現地(塩尻市)
	13	土	22		木造生産・経営1		1級実技試験練習2			ふれいあ技能センター
	20	日	23		木造生産・経営2		1級学科模試・補講			建労会館
11	3	水	24	文化の日	木造生産・経営3		1級実技試験練習3			ふれいあ技能センター
	10	土	25	修了式	総評	公開講座18	修了式	1・2級学科試験	祝賀会	建労会館
12	8	土			2級技能評価試験(実技)					ふれいあ技能センター
	9	日			1級技能評価試験(実技)					ふれいあ技能センター
	17	月			「信州伝統大工1・2級」合格発表					

授業計画や会場は、講師・施設の都合等により変更される場合があります

第2期信州職人学校・伝統大工（応用）コースのご案内

コースの概要

内 容 本コースでは「伝統の技を現代に生かした架構計画（木組み）を提案し、施工できる技能レベル」を到達目標とし、「伝統木構法の広範な知識・技能を有する棟梁」の育成を目指します。（訓練・カリキュラム等の詳細は前ページ参照）

応募資格

伝統構法に関する大工技術・技能の継承を志す者で、以下に該当する者。

（1）長野県建設労働組合連合会傘下組合の組合員（必須条件）

（2）以下のいずれかに該当する者。

建築大工技能検定1級取得者又は建築大工の実務経験10年以上の者で、信州伝統大工入門講座（又は信州伝統大工基礎コース）を修了した者。

信州伝統大工2級技能評価試験合格者。

訓練期間 2012年6月2日（土）～11月10日（土）の毎週土曜日

会場（主会場） 松本技術専門校体育館（松本市寿北7-16-1）

募集人員 15名程度（2012年6月入校・第2期生）

受講料 48,000円（材料代、テキスト代を含む）

）地域調査（研修旅行）の個人負担14,000円程度は別途徴収。

募集要項

応募書類

受講希望者は、受講申込書に必要事項を記載の上、以下の添付書類を添えて郵送により申し込んで下さい。（但し、昨年4月の応募時に提出された書類は再提出不要です）

（1）写真を貼付した履歴書及び職務経歴書

（2）信州伝統大工入門講座修了証の写し又は信州伝統大工基礎コース修了証の写し

（3）以下のいずれかの書類

信州伝統大工2級合格証書の写し、 建築大工技能検定1級の合格証書の写し、 建築大工の実務経験（10年以上）を証明する書類

応募受付期間 2012年4月16日（月）～4月27日（金）

応募書類の提出先 〒390-0864 松本市宮淵本村1-2 建労会館

長野県建設労働組合連合会 伝統建築技能継承事業運営委員会 宛

選 考 入校者の選考は、書類審査等により行ないます。選考の優先順位は、信州伝統大工入門講座修了者、信州伝統大工2級合格者、信州伝統大工基礎コース修了者のうち応用コースの受講資格を満たす者、の順とします。

お問合せ 長野県建設労働組合連合会 〒390-0864 松本市宮淵本村1-2 建労会館

TEL 0263 - 39 - 7200 FAX 0263 - 39 - 7202 【担当/宮川、矢ヶ崎、吉田】